

# 日本語教育能力検定試験 対策セミナー2015

「紙に書いた目標は実現するか？」

- 〇 書く！ 書く！
- I 試験の概略
- II 個人差の激しさ
- III 相手を知ること・自分を知ること
- IV 学習ストラテジー 一般論
- V 学習ストラテジー 具体論
- VI 14回落ちて、15回目に合格

- 〇 書く！ 書く！ 書く！

過去の自分を捕まえ、それを乗り越え、未来の自分になるために。

## I 試験の概略 (→資料)

1 日本語教育業界にいる限り、検定合格はプラスにしか評価されない。

2 23年試験内容改定 (←日本語教育の現場は一層の多様化、細分化)

①基礎項目が中心

②記述問題変更

「言語にかかわる事象」や「教育実践の方法・内容」などに対する考えや主張を問う (400字)。その伝え方を論理性と日本語力の面から測る。

「日本語の乱れ」「ニーズ・レディネスに応じた教え方」「授業での言葉のゆれの取り上げ方」「初級クラスでのアクセントの取り上げ方」「レベル差のあるクラスでのグループ分け」など。

3 試験当日の工夫

- ・マークシート用に丸まった鉛筆
- ・マークミスが減らす工夫 (順番で埋める)
- ・低反発座布団
- ・腕時計 (置時計不可)
- ・ウェットティッシュ (顔を拭いて気分転換など)

- ・ ショール・膝掛（体温調整のため）
- ・ 試験場への道順・経路
- ・ 昼食準備
- ・ トイレ（待っているときに勉強）
- ・ 聴解試験中の雑音問題
- ・ 周りの受験生の癖
- ・ 願書の顔写真
- ・ どの問題から始めるか、時間配分（記述はいつ？）

#### 4 ごく一般的な学習スケジュール

過去問（6月）→基本用語・全体像確認・苦手分野意識（7月）→聴解対策（8月）→  
 苦手分野克服（9月）→記述対策・解答時間意識・暗記モノ（10月）

※（なんだかよく分からない人）『完全攻略ガイド』「確認問題」（一問一答形式）から  
 始めてみる→分からないときに赤本の当該部分を読み込むか、用語集を確認。その次に  
 過去問など。

## II 個人差の激しさ

### 1 以下のキーワードを説明できますか？

破擦音／軟口蓋／プロミネンス／屈折語／発話媒介行為／メトニミー／クレオール／  
 パラ言語／高コンテクスト文化／中間言語／CALP／JSP／機能シラバス／スキヤニ  
 ング／ポートフォリオ／形成的評価／無意志動詞／瞬間動詞／モダリティー／呉音／  
 手続的知識／技能実習／山口喜一郎

### 2 試験まで何日？

### 3 試験まで\_\_\_\_\_？

## III 相手を知ること・自分を知ること

### 1 問題解決の手法

試験の特徴を知ること、自分の得意・不得意、好き・嫌いを知ること。

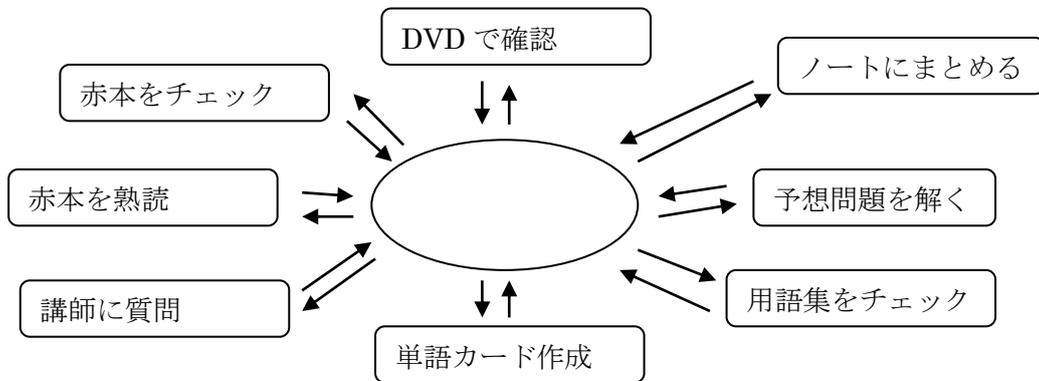
特徴→広い範囲・高い合格点・長い試験時間・聴解形式・記述形式.....

自分が合格する方法を！（←合格体験記の落とし穴）

## 2 過去問

まずゴール (=合格) を知ること、そしてゴールから今の自分の位置を捉える。道の長さ・険しさを自分が知ること。

試しに (合格した気持ちで) 合格体験記を書いてみる。



## 3 重点科目

「日本語教育概論」「音声学」「文法」など

## IV 学習ストラテジー 一般論

### 1 手っ取り早く楽に合格する方法はあるか。

「効率的」な学習 <sup>?</sup> = 手っ取り早い楽な学習

### 2 形から入る (=「みえる化」)

願書をいつ出すのか。

教室でどこに座るか。

信号待ちで何をするか。

思考は行動を変えない。行動・環境が思考を変える。

### 3 バランス感覚

① 全体  $\longleftrightarrow$  部分

② とにかく丸暗記  $\longleftrightarrow$  100%の理解

③ 得意科目  $\longleftrightarrow$  苦手科目

④ 完全独学 ←————→ 講師に頼りっぱなし

⑤ ひたすら読み込み ←————→ 全部ノートにまとめないと気が済まない

#### 4 アウトプットの重視 (外国語学習と同じ)

大声を出して読む! 自分の手で書いてみる! (箇条書き・マインドマップ)

「攻める勉強方法」だから、眠くならない。

ノートの工夫 (→参考図書)

書く!

#### 5 電子機器・文房具の有効利用

タイマー・ストップウォッチ

Anki (記憶カードアプリ)

フリーマインド (マインドマップ作成アプリ)

ボイスレコーダー (聴解対策・記憶)

ふざけた付箋紙・疲れないシャープペンシル・滑らかなボールペン

## V 学習ストラテジー 具体論

### 1 授業の理解と資料の整理

今の授業中に完全に理解し、記憶する。

新しいものに手を出さない。何をすべきかよりも、「何をしないか」。

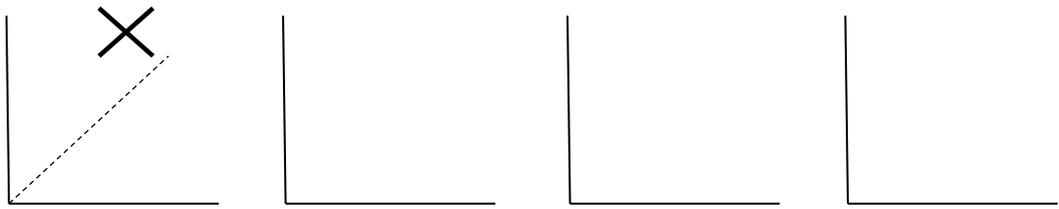
### 2 動機

動機が高いときに、動機が低まったときの対策を。

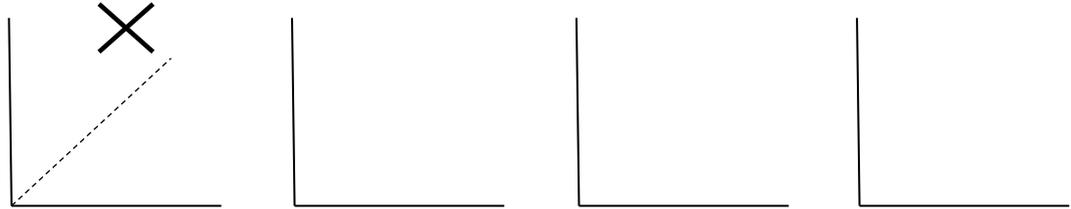
日本語教育から離れない工夫 (→興味を持てる関連書など)。

「初動」を抑え込む (←できる一步一步を確実に)。

心理のグラフ



成果のグラフ



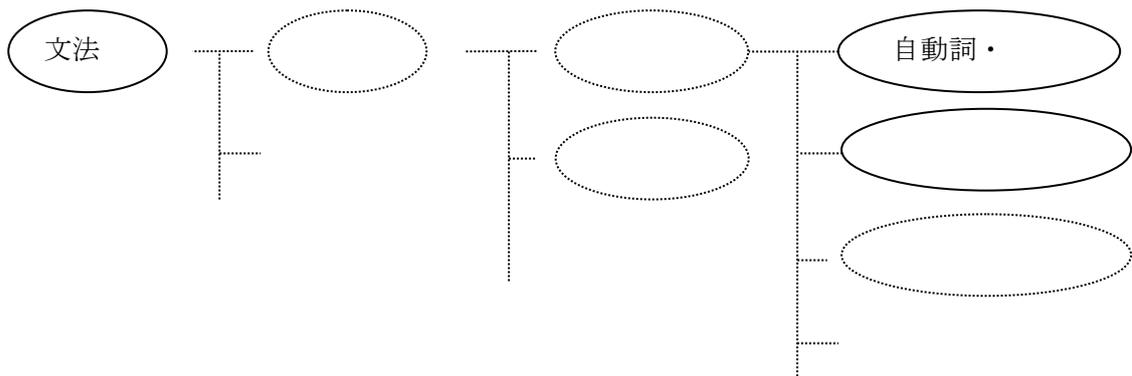
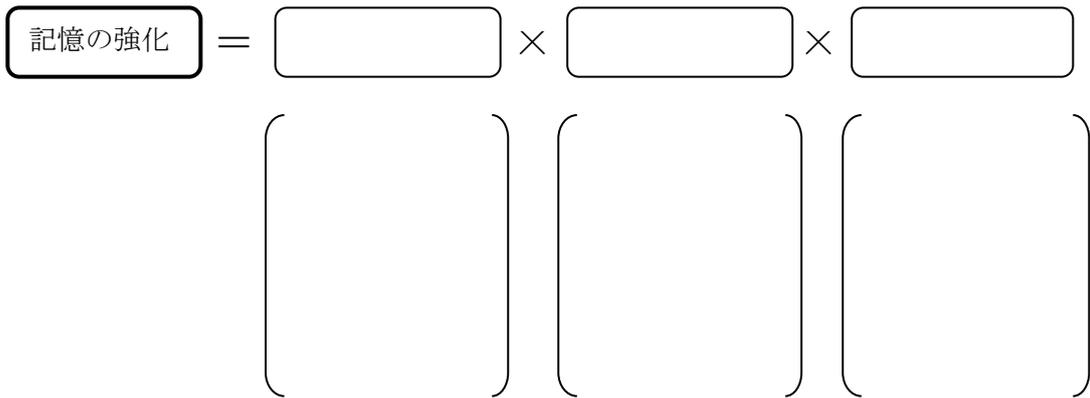
3 理解

わかった気にならないために。

何が、なぜ、わからないのか、いつまでに、何を、どうすれば、わかるようになるか。

本当にわかったのか試す方法→他者に説明できるか自問自答してみる。具体例を挙げられるか。

4 記憶



断片的な知識の暗記ではなく、「自分にとっての意味」と「相互の関連性」を意識すること。→「今学習していることは自分にとってどんな意味があるのか」「今学習していることは今まで学習した何と関連づいているのか」  
あるドラマー「俺は絶対練習しない。でも探究はする」。  
数学者・小平邦彦は大学院生に定理の証明を 20回書き写す宿題を出した。

## 5 環境

どこで学習するのか。一人暮らしでも外で学習。  
現代人の三大浪費行動はテレビ・飲み会・ネットサーフィン！

## 6 苦手科目の克服

なぜ苦手なのか、理由を 20 書いてみる（食わず嫌いなだけ?!）。  
5語～10語のキーワードを完全に理解して他人に説明できるように。  
大声で読んでみる。苦手箇所を書いてまとめてみる（→弱点ノート作成）。  
通信・補講用 DVD を何度も視聴する。

書く！

書く！

## 7 聴解試験対策（→問題 4・5・6は教授法）

本当に時間と労力をかけているか。調音点・調音法・口腔断面図の記憶。  
「本気で取り組んでみたら、得意になっちゃった」。  
自分で発音してみる。自分の口はいつでも使える最良の実験道具。  
アクセントは「ド・ミ」で。  
「唇（両唇）は死刑（歯茎）、死刑（歯茎硬口蓋）は高校（硬口蓋）で難航（軟口蓋）、  
正門（声門）で執行」。  
「摩（摩擦音）擦（破擦音）は（破裂音）、鼻（鼻音）で弾（弾き音）く半（半母音）  
魚人」。  
「加賀は（カガワ）難攻（軟口蓋）」「火矢（ヒヤ）で後攻（硬口蓋）」「サザ（ン）只  
（タダ）ナラ死刑（歯茎）」。

（赤本 p.402）


## 8 記述試験対策

書く！

自分の手で書いてみて、自分の手で直すこと。

自己主張ではなく、マニュアル・報告書・手続きの説明のイメージを持つ。

問われていることに応える。

文章構成・使うべき表現の重視（問題中の言葉をそのまま使う）。

バランス（メリット・デメリット）、学習レベルの場合分け、条件付賛成・反対。

## 9 検定関連講座の受け方

受ければ受けた分だけ必ず合格に近づく。

受けるか受けないかできるだけ早く決断せよ！

未習科目は「科目別セミナー」、通信・補講用 DVD。

## VI 14回落ちて、15回目に合格

### ●参考図書等

#### ○日本語教育

ヒューマンオリジナル解答解説集（過去3年間）

『日本語教育能力検定試験 完全攻略ガイド第3版』（通称：赤本）ヒューマンアカデミー 翔泳社

『日本語教育能力検定試験用語集』ヒューマンアカデミー 翔泳社

『日本語教育能力検定試験に合格するための用語集』岩田一成他 アルク

『平成26年度日本語教育能力検定試験 試験問題』凡人社（平成15年度以前のは桐原書店発行）

『日本語教育能力検定試験 合格するための本 27年度版』アルク

『日本語教育能力検定試験 音声パーフェクト対策』猪塚元 猪塚恵美子 アルク

『日本人の知らない日本語』蛇蔵 海野凧子 メディアファクトリー

『もしも・・・あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』荒川洋平 スリーエーネットワーク

#### ○学習法・動機

『勉強法が変わる本』市川伸一 岩波ジュニア新書  
『学習と教育の心理学』市川伸一 岩波書店  
『「わかり方」の探求』佐伯胖 小学館  
『のうだま やる気のコツ』上大岡トメ 池谷裕二 幻冬舎  
『のうだま2 記憶力が年齢とともに衰えるなんてウソ!』上大岡トメ 池谷裕二 幻冬舎

○ノート作成

『ゼロ秒思考』赤羽雄二 ダイアモンド社  
『100円ノート「超」メモ術』中公竹義 東洋経済新報社  
『1本線ノート術』吉澤ゆか アスキー・メディアワークス  
『勉強が楽しくなるノート術』トニー・ブザン ダイアモンド社

○生活スタイル・自信

『「いつも忙しい」がなくなる心の習慣』水島広子 すばる舎  
『キッパリ! たった5分で自分を変える方法』上大岡トメ 幻冬舎  
『ダメな自分を救う本』石井裕之 祥伝社